

**NPOだからこそ、
組織の社会責任にもしっかりと取り組む！**

**自組織のSR課題を特定して
ロードマップを作成しよう！**

SRフォーラム2013 分科会A

2013年5月10日

山元圭太さん（特）かものはしプロジェクト

石原達也さん（特）岡山NPOセンター

川北秀人 IIHOE

資料の置いてあるお席に、ご自由におかけください。

始まるまで、名刺交換など、各自で自己紹介を。

NPO/NGOが果たすべき3つの基本的責任

- 「**根拠**」と「**結果**」の2つの説明責任
 - 判断と成果への納得が、共感を広げる基礎
- 「**法令**」と「**規則**」を遵守する法的責任
 - 協働・助成など公的資金を受ける基本前提
- **環境、健康と人権、安全、コミュニティ**への責任
 - Environment(環境)
 - Health(健康) + Human Rights(人権)
 - Safety(安全) + Security
 - Community(地域またはテーマ社会)

ISO26000/SRが挙げる「主要課題」(第6章)

- 組織統治(6.2)
 - 意思決定プロセスと構造
- 人権(6.3)
 - デューディリジェンス
 - 人権に関する危機的状况
 - 共謀の回避
 - 苦情解決
 - 差別・社会的弱者
 - 市民的・政治的権利
 - 経済的・社会的・文化的権利
 - 労働における基本的原則・権利
- 労働慣行(6.4)
 - 雇用と雇用関係
 - 労働条件と社会的保護
 - 社会的対話
 - 労働における安全衛生
 - 職場における人材育成・訓練
- 環境(6.5)
 - 汚染防止
 - 持続可能な資源の使用
 - 気候変動の緩和と適応
 - 環境保護・自然生息地の回復
- 公正な事業慣行(6.6)
 - 汚職防止
 - 責任ある政治的関与
 - 公正な競争
 - 影響範囲における社会的責任の推進
 - 財産権の尊重
- 消費者課題(6.7)
 - 公正なマーケティング、情報、契約慣行
 - 消費者の安全衛生の保護
 - 持続可能な消費
 - 消費者サービス、支援、苦情・紛争解決
 - 消費者データ保護、プライバシー
 - 不可欠なサービスへのアクセス
 - 教育と意識向上
- コミュニティ参画・開発(6.8)
 - コミュニティ参画
 - 教育と文化
 - 雇用創出と技術開発
 - 技術開発、最新技術の導入
 - 富と所得創出
 - 健康
 - 社会的(責任)

ISO26000を、NPO/NGOに照らし合わせてみると

● 組織統治(6.2)

- コンプライアンス規定明文化
- 合理的な権限・業務と賃金体系
- 事業報告書の精度を高める
- 意思決定機関に受益者、会員も

● 人権(6.3)

- パートナーの評価
- 苦情・通報の対応手続き

● 労働慣行(6.4)

- 安全衛生上のチェックリスト
- 複数団体合同の相談窓口設置
- 障害者雇用の促進
- 人事交流などキャリアアップ

● 環境(6.5)

- 紙・ゴミ・電気の徹底！
- まずは計る！
→管理業務では義務
- 記録の原則をつくる
- 「供給源」は合同で確認する

● 公正な事業慣行(6.6)

- ネットワークか、談合か？
- 随意契約と公正性・透明性
- フェアトレード！ →安さの確認
- 知的所有権の尊重

● 消費者課題(6.7)

- 根拠の開示
- 用途の開示

● コミュニティ参画・開発(6.8)

- 国際協力NGOでの対応？

NSR取り組み推進プロジェクト(12年9月~)

- ・「ISO26000を自団体に当てはめる会」(IIHOE主催、10年~)をさらに深化させ、NPOのSRの重点課題と具体的な取り組み施策について、「分野ごとのNPOの共通課題」「最低限やるべきこと」の定量化とリスト化、そして参考とすべき事例の紹介などを通じて、NPOにおけるSR取り組み実践の促進と連携を促す。
- ・ダイバーシティ研究所とIIHOEが呼びかけ。現在 計7団体で実施。
NPOサポートセンター、かものはしプロジェクト、
環境パートナーシップ会議、参画プラネット、難民を助ける会
- ・「せっかく企業が先行しているんだから、企業から学ぼう！」
→「**リスク・マネジメント+ステークホルダー満足**」(デンソー)+**啓発**
→中核課題別に、
 - 1)まず対象(ステークホルダー)を特定
 - 2)その対象との接点を洗い出し
 - 3)各対象との接点で必要な取り組みの検証(アセスメント)
 - 4)必要な取組みを実行するための計画(ロードマップ)を立案

「SR取り組みのロードマップ」をつくってみましょう！

団体名：.....

団体の目的：.....

主な活動内容：.....

.....

特に大切なステークホルダー？

例 ①...で...な受益者(...人)

②...を重視する会員(...人・社)

③...を重視する助成機関

④...で...なスタッフ(...人)

...

今年度上半期にすべきこと

① ...！（担当：...、期限：.../...）

② ...！（担当：...、期限：.../...）

③ ...！（担当：...、期限：.../...）

④ ...！（担当：...、期限：.../...）

...

今年度末までにすべきこと

① ...！（担当：...、期限：.../...）

② ...！（担当：...、期限：.../...）

③ ...！（担当：...、期限：.../...）

④ ...！（担当：...、期限：.../...）

...

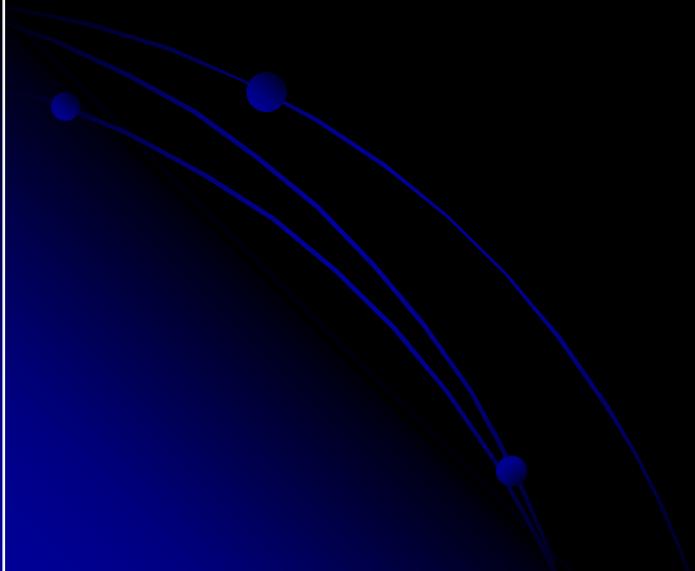
「SR取り組みのロードマップ」をつくってみましょう！

特に大切なステークホルダー？

- 例 ①・・・で・・・な受益者(・・・人)
- ②・・・を重視する会員(・・・人・社)
- ③・・・を重視する助成機関
- ④・・・で・・・なスタッフ(・・・人)
- ・・・

今年度上半期にすべきこと

- ①・・・！(担当:・・・、期限:・・・/・・・)
- ②・・・！(担当:・・・、期限:・・・/・・・)
- ③・・・！(担当:・・・、期限:・・・/・・・)
- ④・・・！(担当:・・・、期限:・・・/・・・)
- ・・・



他の方の「ロードマップ案」を見て
付箋でコメントする(16:15まで)

付箋にボールペンなどで、

「質問」または

「助言・提案・ヒント」を。

×「感想」

×「励まし・ねぎらい」

必ず、10枚すべて書いてから着席！

いただいたご質問から

Q: 温度差どう埋める？

A: そんなになかったけど、配慮した
(勉強会中間報告にスタッフ連れてきた)
「組織基盤強化」と信じて説得した
→「やりたいこと」として発信

Q: 広報ガイドライン？

A: 現地: 元被害者の実名・写真禁止、
複数ケースを統合→特定忌避
日本: 個人SNSの禁止・奨励事項

Q: やってるのに発信できてない企業？

A: 「読む会」はガイドラインで整理
→発信には温度差。。。

糸口をつかめるきっかけ大切

中小企業向けガイドライン作成中

もう一度、まっさらからやるならどうする？

とにかく参加してもらおう+川北を呼ぶ？

→2時間の会議で各主題10分ずつ

→表にまとめて理事承認→年次報告書

→効果がわかるはず

アメとムチ: 報告書掲載項目の調査・比較